運動大好き光岡っ子プロジェクト ~体育授業の改善を中心に~

大分県日田市立光岡小学校

全校児童数 532名(男子265名 女子267名)					
21	教職員数	42名			
体育専科教員訪問学校数 2					
日田市立高瀬小学校					
日田市立三芳小学校					
体育専科教員名			岩﨑	敬	
	21 林育専科 日田市	21 教職員数 本育專科教員訪問学校 日田市立高瀬小学校 日田市立三芳小学校	21 教職員数	21 教職員数 42名 本育專科教員訪問学校数 日田市立高瀬小学校 日田市立三芳小学校	

Plan:取組時の課題と計画

1 取組時の課題

◆外遊びをする児童は必ずしも多くなく、学年が上がる につれて少なくなっている。

(休み時間に外遊びをする子 300人前後532人)

- ◆外で遊びたくなるための環境づくりや遊びの紹介が必要である。
- ◆体力テストにおいて全国平均を超える項目は平均並みで、まだ伸びる可能性がある。

(45 項目/96 項目)

◆体育の授業で運動学習の時間が少ない傾向にある。

2 取組の計画

- ① 体育の授業改善
 - ・全児童の学習カード (ファイル) を作り、学びの履歴を可視化させる。

(カード添削→指導案再考→授業→評価)

・TT体制の充実

(授業をしながらの情報共有)

- ・互見による授業分析
- ② 家族上体越こしの実施
- ③ 情報発信
 - 教職員向け体育専科通信
 - ・学校ホームページに「体育専科だより」の設置

Do:実践内容

1学習カード(ポートフォリオ)

- (1) 1時間の活動を1枚にまとめた学習カード
- (2) パソコンでの履歴管理とデータ輸送

2授業分析

- (1) コーティングシート (2003 高橋) を活用しての授業記録
- (2) コーティングシートを基に運動学習時間がなぜ確保できたかなどの分析

3跳び箱の台車、宝とり鬼の宝作り

- (1) 長期休暇中の体育部の活動
- (2) 跳び箱の準備、片付けを簡単にする台車作り

4運動遊びの紹介

- (1) 教師→体育委員会→児童への運動遊びの紹介
- (2)「スポーツ鬼ごっこ」の紹介

5家族上体起こし

- (1) 宿題として一週間の上体起こしの実施
- (2) 実施後の翌週に体力テストでフィードバック

6体育専科通信

- (1) 教職員向けに月3回程度の体育専科通信発行 **7学校ホームページの活用**
- (1) 学校ホームページに「体育専科だより」のバナーの設置
- (2)月1回程度で光岡小学校の様子やトピックス等の紹介

●工夫したこと(&苦労した点)-

- ①学習カードの添削は大変であるが、その分授業改善に はつながっている。
- ②職員向けの研修時間が取れず、通信を机上に置いていく方法にした。

Check:取組の成果

- ①毎時間の学習カードをつくることで、授業が無駄なく スムーズに流れるようになった。授業者も学習カード がデータとして保存されているため、単元全体を俯瞰 して見れるようになった。
- ②台車作りと宝作りを行うことにより、体育授業は「作るもの」という意識を持てた。
- ③運動遊びを体育委員会の子に紹介することにより、上級生が自然に下級生に教えるという場がみられた。
- ④体育専科通信を発行することにより、職員室でもいくらか記事に関する体育の話題が増えた。

Action:今後の課題

① 全校アンケート「運動やスポーツ、外遊びが好きですか」の回答が下記の状態で増えていない。学級・学年で数値の増減が大きくその原因を探る必要がある。

	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
7月	74%	16%	7%	4%
12月	74%	17%	6%	3%

②本校では学年体育という形で 100 人程度が一斉に授業を行うことがある。それがどういうプラス面やマイナス面があるのかを整理して次年度につなげたい。

◎体力向上の取組がもたらす波及効果

外で元気よく遊んでいる子は、心身ともに健康で落ち着いた生活を送れる子が多い。また他者と多く関わることで、相手を思いやる力や他者と合意形成する力も育成できる。

